2026年１月31日発行
発 行
社会福祉法人 栄光園
〒874-0904 別府市南荘園町5番18号
電話0977(23)2827
http://www.eikoen.jp/
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山町1-7 電話0977(21)0505

『子育ち』支援が大切

大分県児童養護施設協議会 会長
社会福祉法人聖ヨゼフ寮 施設長
衞藤 祐治

私は児童養護施設聖ヨゼフ寮に勤務し48年になります。聖ヨゼフ寮は昭和8年に創立し今年で92年を迎えています。聖ヨゼフ寮の歴史の半分以上を過ごしてきたことになります。この間、多くの子どもたちの成長を見守ってきました。子どもたちの多くは生きづらさに苦しみ、悩んでいました。

子どもは本来、大切に育てられ成長し温かく見守られるのが望ましい姿だと思います。極端な言い方になりますが、幼少期は無条件に愛され大切にされながら育ち、要求をきちんと受け止めてもらい、その願いを叶えられることにより、親や周囲の人への信頼を獲得し、社会との上手な付き合い方を学ぶのだと思います。

児童養護施設で暮らす子どもたちの多くが、幼少期に大切に育てられた経験が少なく、要求しても聞いてくれないことが続き、要求することをやめたり、自分の思いをうまく言語化できず伝えきれずに分かってもらえないという思いがあります。

心の中に渦巻く感情についても表現できず、モヤモヤやイライラがいっぱいで「ウゼエ」「キモイ」などの言葉で表現したり、自分の存在を大切と思えず、どうでもいいと投げやりになることもあります。自分を大切に思えず、相手も大切にできないことで悩んでいます。

現在、日本の子どもたちは多くの困難と生きづらさを持っており、深刻な社会問題となっています。例えば「不登校34万6482人」「ひきこもり146万人（令和4年全国推計）」「いじめ73万2568件（令和5年度）」「子どもの自殺529人（令和6年）」「児童虐待相談22万5509件（令和6年）」その他、インターネット依存や居場所のない子どもたち等々です。

これらの問題の背景には子どもの育つ環境の悪化があるのだと思います。悪化した環境では子どもの健全な成長と発達が保証されず、その後の人生に大きな影を落とすことになります。保育や社会的養護の関係者には広く知られていますが、愛着障害という言葉があります。乳幼児期に身近な大人との間に良好な関係が築かれると、愛着関係が育ち基本的信頼感が作られると言われています。不適切な養育により愛着が築かれない時、愛着障害が子どもに見られます。

乳幼児期という子どもの成長にとってかけがえのない大切な時期に、子どもの出すサインに気づかなかったり大人の都合ばかり優先されることが続くと、子どもに何らかの生きづらさや、自尊感情が損なわれ周囲の人や大人を信じることが出来なかったり、良好な関係を築けなかったりします。

児童養護施設では安心・安全な場となり、子どもが大切にされたと思える関わりをしながら、子どもの自立を促す働きかけを行っています。しかし、日々困難と出合い苦労しているのが実情です。

施設では、一般家庭からのショートステイや一時保護の子どもの受け入れが増えており、その中にも気になる子どもさんが多く見受けられ、将来を心配しています。

最後になりますが、子育て家庭についての在り方や子育ちについて、学生の頃から学ぶことや、接し方について体験できる機会を増やし、赤ちゃんへの接し方や子どもの成長に必要なことについて学ぶことが出来る環境を整えてもらい、子どもの育ちが守られることを中心にした「子育ち」支援が求められています。

謹賀新年

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。
本年も相変わりませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2026年 1月

社会福祉法人 栄光園 理事長 滝口 真
児童養護施設 栄光園 施設長 岡田 豊弘
乳幼児総合支援センター センター長 安西 恵子
青山こども園 所長 本庄 智宏
野口保育所 所長 工藤 直子
職員一同

児童養護施設

続けることの意味
～伝統あるクリスマス祝会を担って～

保育士　竹原　史雅

今年度、12月20日(土)に第75回栄光園クリスマス祝会を開催いたしました。創設から75年間も続けている伝統あるクリスマス祝会でございます。

開催1週間前に、70歳を過ぎた栄光園出身者の方がお見えになりましたが、このクリスマス祝会だけは鮮明に覚えていらっしゃるようでした。少し微笑みながら、「私はマリヤ役をやりましたの！」、「練習が厳しかったのよ！」。そういう中で、私は会の責任者として、約3か月前から準備を始めました。こどもたちは、宿題を済ませた後、普段ならゆっくり過ごせる時間を割いて懸命に練習してくれました。スタッフもこどもたちのために、また、伝統を継承するために一丸となりました。

クリスマス祝会当日を迎え、こどもたちが讃美歌を大きな声で歌う姿、恥ずかしがりながらマリヤ役をした小学生5年A児、ステージ上をキラキラと明るくした天使役の小学3年B児、りりしく博士役をした小学4年のC児、皆がそれぞれの役に成りきり、キリストの降誕をお祝いしました。

こどもたちの置かれている環境は日々変化していますし、栄光園を巣立った後もさまざまな困難が待ち受けていると思います。しかし、栄光園に戻れば必ず残っているものの一つにクリスマス祝会があります。クリスマスの時期になると、どこにいても自分の人生の物語の一つとして、このクリスマス祝会を素敵な原風景として思い出してくれることを願っています。

(続)栄光園における心理士について

臨床心理士・公認心理師　井生　浩之

15年ほど前の本誌にて「栄光園における心理士について」を掲載。その中で「児童養護施設における心理士は経験が浅く、手探りの日々が続いている」ことに触れました。多少の経験こそ蓄積しましたが、私の手探りはまだまだ続いており、それは児童養護施設での実践に留まらず、保育所との手探りという形になっています。

「保育カウンセラー」ということばをご存じですか？かんたんに言えば、保育所や幼稚園版のスクールカウンセラーです。栄光園では、2018年より導入。背景に、2016年の児童福祉法改正があり、「こども本人だけではなく、『家庭そのもの』を支援する」ことが謳われました。これに対して、栄光園は何ができるのか？児童養護施設長、乳児院長(※当時の名称)、保育所長たちでの協議がなされ、児童養護施設と乳児院の心理士を保育所に派遣する形となりました。なお、保育カウンセラーが全国的に少ないことも、決め手になったようです。

保育カウンセラーの主な業務の1つ目は、こどもたちの「行動観察」です。まだ語ることが未熟な乳幼児であるため、スクールカウンセラーのようにカウンセリングをすることはあまりありません。行動を通した語り(表現)に着目していきます。そして、2つ目は、保育所の「先生たちとの相談業務」です。なお、先の行動観察の内容も織り交ぜながらの展開が多いです。先生たちは、こどもたちを本当によく見ていて、本当に成長を願っているんです。頭が下がります。そのような中、一度もなかった3つ目の業務が、先日ついに実現したんです。「保護者へのカウンセリング」です。勇気を出して申し出てくださり、そして、カウンセリングを終えた後の笑顔は非常に印象深いものでした。

青山こども園、野口保育所の保護者のみなさま、気軽に活用してくださいね。

以上、こども園・保育所との協働の手探りをお伝えしました。少しでも興味を持って読んでいただければ幸いです。

乳幼児総合支援センター　栄光園

食事の大切さ

保育士　竹之内　菜々未

現在、りすグループは5ヶ月から8ヶ月の計7人で生活をしています。寝返りやずり這いが出来るようになったりと、日々こどもたちの出来る事が増えていく様子を近くで見守れるグループです。出来る事が増えると嬉しい事もありますが、「どうしたらよいのか」と悩む事もたくさんあります。

私は今、8ヶ月の男の子Aくんの担当をしています。

10月から『1回食』を始め、10倍粥から挑戦しました。大人からすると平気な食べ物ですが、Aくんからするとミルク以外の「初めての食べ物」です。最初

聖書の言葉

学者たちはその星を見て喜びにあふれた

（マタイによる福音書2章10節）

別府不老町教会 牧師 **尾崎 二郎**

皆さん、喜びにあふれた生活をされていますか。聖書は「喜びなさい」（マタイ5：12）と言って、人々に喜ぶことを勧めています。この神様からの命令に素直に従う人は、どんな苦難の中にあっても喜び、やがてその苦難は過ぎ去っていきます。

但し、罪多き現代社会で、思いつくままに悦楽に浸って、自分を喜ばせようとすることは逆効果でしょう。そのような喜びは、人間にとって誘惑となって、更なる苦難を引き寄せるだけに終わってしまいます。

今日の聖書の言葉は、永続的なまことの喜びとは何かを示す良い例です。東の方から旅をしてきたその学者たちは、自分たちを救ってくれる王様を探し歩いていました。その王様とは救い主イエス・キリスト様でした。学者たちは旅を続けた甲斐あって、そのお方にお会いすることが出来たのです。クリスマスでの出来事です。

学者たちが、その家に入ってイエス様と顔と顔とを合わせる前に、家の外でその星を見て、もう既に喜びにあふれていたことに、私たちは留意したいと思います。まことの喜びにあふれるとは、このように段々と時を追って、喜びの核心に近づいていく歩みだと言えるでしょう。

クリスマスを待ち望み、段々とイエス様に近づいていく喜びは、とても静かで落ち着いた歩みでありますが、そのように歩む人には、確実に、イエス様から喜びが恵まれるようになります。

命のある限り　恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り　生涯、そこにとどまるであろう。（詩編23編6節）

昨年末の栄光園クリスマス礼拝・祝会に出席させていただき、キリストの降誕劇を、私も観させていただきました。何か全体的に、静かで落ち着いた、そして確実な喜びがあふれているように感じました。白い衣に身を包んだ中東のおじさんたちも、キリストの降誕をお祝いするために、立ち寄って下さいました。

神さまの御計画は、人間にとって喜ばしいものです（エレミア書29：11）。しかし、それは人間の計画ではないので、何が起こるか、分かりません。それゆえ私たち人間は、聖書に書いてある「喜びなさい」という御命令に素直に従って生きるしかなさそうです。今年もイエス様の恵みと慈しみにあふれる一年となりますように。

地域イベント開催

保健師 衛藤 真弓

「クリスマス会」を別府大学短期大学部の乳児研究会と乳幼児総合支援センターでコラボ開催しました。11組の親子が参加してくれました。乳児研究会の学生さんが、フォトスポットや製作、遊び、親子でふれあえるおたのしみタイムを企画し準備してくれました。

フォトスポットでは、サンタの衣装に着替え手作りソリに乗って写真を撮りました。製作コーナーでは、クリスマスリース、キラキラゆきだるまを作りました。キラキラゆきだるまは、ゆきだるまのお腹に色違いのカラーセロファンを貼りあわせ、ステンドグラスの完成。そこから見るキラキラした世界に驚いた表情をするこどもさんや顔に近づけたり離したりを繰り返し、今の気持ちを飛び跳ねて表現するこどもさんがいました。

学生さんの企画はとても好評で楽しいクリスマス会となりました。

はスプーンに驚き、口に入ると戸惑いながら1口食べる事が出来ました。しかし、そこからは嫌がり食べる事が出来ませんでした。しかし、Aくんにとってはとても大切で『食事』の大きな一歩です。その日から2口、5口と段々食べる量が増えていき『2回食』も始まりました。現在は、お粥と野菜など食べられる種類も増えていき、お代わりもするようになりました。

子育てレッスン？

里親支援専門相談員 齊藤 光里

11月から別府市にお住いで乳幼児を子育て中の方を対象とした講座を開講し、今回5名の方が参加をしていただきました。この講座は計4日間あり、センターの保育士や看護師、栄養士等がそれぞれの視点からこどもとの関わりやポイントをお話しています。各セッションの中ではお話だけではなく、新聞紙遊びや手作りおもちゃ作り、調理実習なども体験できるようになっています。

新聞紙遊びではこどもになりきって思いっきり新聞紙を破いたり、バラまいたりしてもらうと、参加された方からは「ストレス発散になった」という

感想をいただきました。普段片付ける側にいるとつい散らかしてほしくない気持ちで遊びや関りを考えてしまいますが、大人が楽しいと感じたようにこどもにとっても楽しい遊びの時間でもあります。

これ以外にも、センターではちびっこ広場を毎週開催していますので、思いっきり身体を動かして親子で一緒に遊ぶ時間を楽しんでください。

児童育成支援拠点事業
こどもの居場所
Mixポケット

調理実習 part2

保育士　相良　智美

冬休みに入り夏休みに引き続き2回目の調理実習をしました。

今回はピザやシチュー、ゼリーやプリンアラモードなどのクリスマスパーティーのメニューを作りました。ピザのトッピングやデザートの飾りつけ、シチューの具材の野菜を切るなどそれぞれの学年に応じて役割分担をして作業をしました。玉ねぎを切る時には「目が痛い」と涙を流しながら一生懸命切る姿もありました。

食事中に誰が野菜を切ってくれたのか、誰がデザートの飾り付けしてくれたのか紹介しながら、みんなで感謝して楽しく食べることができました。

サンタがMixポケットにやってきた

子どもたちが冬休みを迎え、クリスマス会を予定していたある日、サンタクロースが子どもたちに本のプレゼントを持ってきてくださいました。突然現れたサンタに皆びっくりしていましたが、少しずつ距離も縮まり、ハイタッチをしたり抱っこされたりとサンタさんとすっかり仲良しになっていました。また今度のクリスマスにも来てくださいね。みんなで楽しみに待っています。

チャリティーサンタ大分支部の皆様ありがとうございました。

お正月の遊びをたのしもう

年始の凧作りでは、ビニール袋を凧の形に切ることから始めたのですが、ビニール袋がたわみ、なかなかうまく切ることができませんでした。すると中学生の男の子が、テーブルにセロハンテープで凧を固定し、上手に切る工夫をしていました。その様子を見た低学年の男の子も真似をしてテープで貼り付けた後、切ったり絵を描いたりして上手に作る事が出来ました。こども同士の学びの機会となったようです。

凧が完成すると、グラウンドで思いっきり走って空高く飛ばしていました。自分で作った凧が高く飛ぶ様子をみんな大喜びで見ていました。とても良い笑顔で新しい年を迎える事ができました。

凧作りをしている最中に、家庭でのお正月の過ごし方を尋ねると、ほとんどのこどもが初詣に行っていませんでした。中にはお年玉をもらっていないということもいました。コロナやインフルエンザの流行などの影響もあるかと思いますが、一番は家庭環境やライフスタイルの変化が影響しているのではないかと感じています。現在では生活様式や価値観が多様化する中で、伝統行事も少しずつ形を変えてきているように思えます。

今後も昔ながらの遊びや伝統行事を体験する事ができる活動を取り入れていき、日本の文化を伝えていきたいと思います。

青山こども園

園長先生のホットケーキを食べたよ

保育士 曽我 公美

園長先生の焼くホットケーキ屋さんがうさぎ組0歳児のお友だちのお部屋にもやって来ました。フライパンやボール、お玉などを準備する時から「なにがはじまるのかな?」と目をまん丸にして見ていたこどもたち。バターのいい匂いがすると、そろそろ焼けたかな? さぁ、お楽しみのはじまりです。

1・2・3でホットケーキがくるくると宙を舞うと、その様子を見て、きょとんとしている子、ケラケラ笑う子など様々でしたが、みんなかわいい表情をみせてくれました。お味は? もちろん格別だったようで、お皿を持ち上げ「ください」とたくさんおかわりをしていました。これからも作る場面を見る、匂いをかぐ、出来たてを食べるなど五感を使った食育活動を大切にしたいと思います。

おおきいおいもがたくさんとれたね!

保育士 宮本 真耶加

秋に行われた芋ほり親子遠足では、曇り空で少し心配していましたが、無事に皆で芋ほりをすることができました。土の中から大きなお芋が出てくると親子で驚いたり、楽しそうに掘ったりする姿が見られとても微笑ましい時間となりました。

帰りのバスでは、疲れて寝てしまう子もいれば、友だちと話をして最後まで元気に過ごす姿などいろいろな表情を見ることができました。1日を通して親子でたくさん楽しんで頂けたことと思います。

もちつき ぺったんこ

保育士 阿部 由妃

ぱんだ組2歳児のお友だちはお正月の準備で餅つきを行いました。

事前に小麦粉粘土や手作りの臼と杵で遊び、餅のつき方や丸め方を知りました。当日は杵が重かったのですが、お友だちの中の数人は一人の力で持ち上げて餅をついていて、なんだか表情も達成感を感じているようでした。

実際の餅に触れると「あったかい」「気持ちいいね」と丸めたり、両腕いっぱいに伸ばしたりして感触を十分に味わうことができたようです。こども園で餅を食べるのは3歳児からになりますが、お正月に向けての行事に参加して、今年の締めくくりができました。来年もこどもたちが元気に過ごせますように。

発表会がんばったよ

主幹保育教諭 阿部 菜月

12月に別府市公会堂で発表会がありました。今年もこどもたちの興味があるものから演目を選びました。

〝可愛いものが好き〟〝ポケモンが好き〟や〝よく口ずさんでいた歌〟などを候補にあげてこどもたちと【自分はどれがしたいか】を考えて決めました。

クラス内で練習したり、きりん組3歳児のお友だちやらいおん組5歳児のお友だちと一緒に練習していく中でお手本のように上手に踊ろうとしたり、らいおん組さんに負けないように大きな声で歌ったりする姿が見られました。だんだん発表会の日が近づくと「あと何回寝たら発表会?」と当日をドキドキしながら楽しみに待っている様子が伝わりました。

発表会当日は少し緊張気味の子もいましたが、自分なりに表現することを楽しんでいる姿を見ることができました。

野口保育所

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

昨年の秋から冬にかけての行事を少しずつですがご紹介します。

運動会

主任保育士　末吉　佳奈

今年度の運動会を10月10日(金)市民体育館で行いました。緊張で泣いてしまうこどももいましたが、たくさんのお家の方が拍手で応援してくれ、最後まで頑張る姿はとてもかっこよかったです。1年の大きな行事の一つである運動会を経験したことで、こどもたちの自信となりまた一つ成長したのではないかと思います。

発表会

保育士　渡辺　智美

別府市コミュニティーセンターにて12月6日発表会がありました。幕が上がるとお家の人を前に泣いてしまうかなと思っていましたが、大きな舞台に立っても泣いたり、固まる事もなく堂々と可愛い姿を見せてくれました。そんな可愛いこどもたちが、これからも安心してスクスクと育って行けるように見守っていきたいと思います。

もちつきしたよ！

主任保育士　末吉　佳奈

12月19日(金)全クラスで餅つきをしました。蒸しあがったもち米をりんごぐみ(3歳)、めろんぐみ(4・5歳児)が「ぺったんこ～それぺったんこ～♪」と歌いながら杵でもちをつき、めろんぐみのこどもたちが鏡餅を作ってくれました。各クラスで出来たてのもち米やお餅を砂糖醤油で食べました。出来たてのお餅は「美味しい！」「柔らかい！」とニコニコ顔のこどもたち。とても喜んで食べていました。昔ながらの伝統ある餅つきをこどもと経験する事が出来てよかったです。

盛りだくさんのクリスマス会！

保育士　三澤　亜美

今年のクリスマス会(24日)は前夜祭からのスタート！クリスマス会前日23日の朝、玄関のツリーの周りにはあわてんぼうのサンタさんから手紙と沢山のプレゼントが届き、驚きながらも大喜びで遊んだこどもたち。クリスマス当日にもサンタさんとトナカイさんが会いに来てくれて、一緒にダンスをしたり、サンタさんがマジックショーを見せてくれました。マジックでこどもたち一人ひとりにまたまたプレゼントを出してくれ、手渡ししてくれました。給食の先生が作ってくれた大好きなメニューが詰まったクリスマスランチを食べ、午後はおやつ屋さんごっこを楽しんでいました。

こどもたちが毎日楽しく過ごし卒園していくこどもたちや園児たちにも良い思い出が出来るように、残りの3か月も職員力を合わせて頑張っていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

野口保育所　職員一同

地域交流事業 集いの場 くるみ

地域支援担当　原田　康子

10月

10月は、ハッピーハロウィンのイベントを行いました。自分で作ったコスチュームで仮装して近くの事業所を「トリックオアトリート」と言って訪問させていただきました。それぞれ思い思いの飾りをつけて自分の帽子やスティックを作ってそれを身に着けて出発しました。別府重度障がい者センター、デイサービスセンター福笑居、児童養護施設栄光園、乳幼児総合支援センター栄光園、の4か所を訪問させていただきました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。おかげさまでこどもたちに楽しい経験をさせてあげることができました。これからもよろしくお願いいたします。

福笑居の皆さまからは、手作りのプレゼントもいただき、こどもたちも大喜びでした。

11月

11月は、お正月に飾る〝門松〟を作りました。こどもたちは初めての門松づくりに四苦八苦しておりましたが、ボランティアの皆さんの助けもあり何とか仕上げることができました。おかげで参加者全員が新しい年を迎える準備をさせていただきました。この飾りでよい年が迎えられます。

12月

12月は、「１００万人のクラッシックライブ」を開催しました。この「１００万人のクラッシックライブ」は、音楽で心の健康と豊かな体験を届けたいとの思いを込めたこどもたちに音楽を届けるプロジェクトです。

今回でこのライブも4回目となりました。今回は、チェロとピアノの生の演奏を楽しませていただきました。

当日は、宮本百合子様(チェロ)と戸田友紀子様(ピアノ)のお二人でのライブを楽しませていただきました。お二人とも様々なところで演奏活動をなさっており、経験豊富なお二人の奏でる音色にうっとりと聴き入ってしまいました。

また、こどもたちにチェロを弾かせてくださるなど貴重な体験をさせていただきました。

こどもたちが、クラッシック音楽を身近なものに感じてくれたのであれば幸いです。

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2025年10月1日より2025年12月31日まで】

賛助金

安部道人様　大分市
安部良一様　速見郡
安東秀典様　大分市
猪俣匠子様　別府市
上野貢一様　南さつま市
影山隆之・由利様　大分市
北方鮮魚店様　別府市
木村洋子様　大分市
吉良頌三様　別府市
貞閑公認会計士事務所　貞閑孝也様　大分市
島田晉様　別府市
竹内富美雄様　大分市
永尾福康様　別府市
帆足和生様　別府市
山口産業㈱　別府市
㈲栄光建設　塩月逸男様　富田林市

一般寄付

伊勢方信様　大分市
一般社団法人日本競輪選手会大分支部様　別府市
岩田智子様　大分市
エンジョイゴルフ大分事務局様　別府市
大分銀行労働組合様　大分市
亀井浩様　別府市
久保実能様　別府市
里の駅ふるさと市場R213駅長　iオリーブ代表　木付弘子様　国東市
三栄建設工業㈱様　大分市
税理士法人アール様　大分市
税理士法人大分綜合会計事務所様　別府市
高木政嗣様　別府市
田北博道様　速水郡
匿名様　別府市

別府不老町教会様　別府市
別府不老町教会　婦人会様　別府市
松本小児科医院様　別府市
㈲波津久養豚場様　臼杵市

自立進学資金

井上せつ子様　大分市
梶原康弘様　大分市
神鳥慶子様　杵築市
波多野郁子様　別府市
平川順子様　別府市
南範子様　中津市
匿名様　中津市

特別物品寄付

丹波黒枝豆　BNR様
洋服　税理士法人アール様
おせち料理　㈱平間友也様
みかん　安部和子様
お米　イーホープ様
クリスマスプレゼント　下郡和子様
一般社団法人日本ベビーサイン協会様
さつまいも　伊藤一幸様
衣類　いろは商事㈱様
お米　岩尾里親様
里いも　江口敏一様
お米　衛藤大八様
豚ヒレ肉　大分県養豚協会会長　工藤厚憲様
お米　荻原書籍様
ぶどう　角脇博文・多喜子様
クリスマスケーキ　㈱イマハシ　代表取締役今橋和俊様
お米　㈱平倉建設　相談役　姫野英範様
お米　㈱藤田食糧物産　代表取締役社長　藤田賢二様
ジュース・カップラーメン・卵ほか　㈱フレイン様
冬瓜　河野綾子様
子ども服　河村亘様
おせち料理　ぐるーん大分様
パン　ココラート様
レタス　コルディアーレ農園
〃　コルディアーレ農園
〃　コルディアーレ農園
〃　コルディアーレ農園　高速道路トールテクノロジー様
〃　コルディアーレ農園　ジェーエムエーシステムズ様
〃　コルディアーレ農園　㈱林ケミック様
柿・キウイ・ミニトマト・衣類・文具・洗剤　川崎地質様
みかん　RXJapan㈱様
クリスマスケーキ　九州電力様
シャンメリー　全国シャンメリー協同組合様
みかん　荘寿会　会長　安達輝久様
天ぷら　高木政嗣様
サツマイモ・里いも・ほうれん草　高橋惠一様
白菜・大根・ほうれん草　田北博道様
絵本　チャリティーサンタ大分支部(西嶋しのぶ)様
洋服(乳幼児)　槌田雄一様
お米　匿名様
さつまいも　匿名様
お菓子　匿名様
さつまいも　仲内隆様
みかん　中山田正春様
キンパ・ヤンニョムチキン弁当　日本恵教会様
アロマ除菌スプレー　ハンドバードの皆様
野菜・果物　フルゴスペル教会様
たこ焼き・みかん　麦の会様
クリスマスカード　門司一徹様
柿・クリスマスケーキほか　山本宣雄様
子ども服・抱っこ紐　幸野誠司様
絵本　横浜幸銀信用組合様
パン　石窯工房モコモコ別府店様
クリスマスケーキ　㈲TN保険ひろば様
クリスマスのお菓子　安部純子様
お菓子・キウイ　三栄建設工業㈱様
ジュース　日本競輪選手会大分支部様
クリスマスプレゼント　フルゴスペル大分教会様
アドベントジオラマ　別府不老町教会様
鏡餅　日本鏡餅組合㈱ゆのたに
図書券・ボディーソープ　理事長　樋口元剛様
衣類・文房具(百人一首)　影山隆之・由利様
パズル　寺司肇様
水稲うるち玄米　大分県農業共済組合様
書籍　大分県遊技業協同組合様
ヨーグルト　布亀㈱マザーケア宅配事業
DVD　大分デリバリーセンター様
ドミノピザセット　ほっともっと様
お米　雪印ビーンスターク㈱様
衣類　笠口成男様
衣類　谷まい様
スタイ・マクラ　臼井真由美様
衣類・雑貨　岩川義枝様
明治安田生命 大分北営業所様

招待・奉仕

金曜学校　別府不老町教会
別府教会　尾崎二郎様・川野是様・園田美保様
別府野口教会　庄司宣充様
ハンドマッサージ　清野量様
書道　荒金節子様
学習ボランティア　中村進様・竹谷元伸様
安東秀典様・井上せつ子様・原優月様
散髪奉仕　west village　西村大輔様
〃　beauty MORE　中村雄一様
〃　hair salon Aiwa　立川奈美様
演劇招待　劇団立見席様
七五三写真　木村写真場様
七五三着付け　エッチ美容室様
イベント招待　大和リース㈱大分支店様
チケット　冬の祭典実行委員会様
集いの場くるみ　ボランティア
牧野千里様・首藤むつよ様
安藤晴夫様・佐藤もも様
林田侑士様・亀井瑚雪様
河野帆乃夏様・大本夕楓様
川田若奈様・相良厚子様
ハロウィンイベント協力　別府重度障がい者センターの皆様
100万人のクラッシックライブ　福笑居の皆様
チェロ　宮本百合子様
ピアノ　戸田友紀子様

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌『栄光園だより』を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。
口座名義　社会福祉法人　栄光園
口座番号　01930-2-20748

「栄光園だより」の発行回数および寄付お礼状の送付方法変更のお知らせ

長年皆様にお届けしてまいりました「栄光園だより」ですが、来年度より発行回数を年4回から、年2回（7月・1月）へと変更させていただくことになりました。

また、これまで誌面に同封しておりました「ご寄付へのお礼状」につきましては、1月よりはがき、または封書にて別途郵送させていただきます。

突然の変更で恐縮ではございますが、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

編集後記

長年年4回のペースで皆様にお送りさせていただいておりました栄光園だよりも来年度より年2回の発行となり、内容も一新することとなりました。ご支援をいただいております皆様に当法人の施設の様子などをご報告することを念頭に置きながら作成してまいりました。つたない文章や内容ではあったかと思いますが、ご覧いただきありがたく思っております。当法人の各施設を様々な状況に置かれたこどもたちが利用していますが、このこどもたちの置かれている状況は、意識して見ようとしなければ見えないものだと思います。こんなこどもたちの実情を知っていただき、理解していただきたいという思いを込めて次回以降の栄光園だよりにバトンを渡していきたいと思います。ありがとうございました。

（原田）

苦情等相談窓口

＊法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。

tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp